

第 25 期 第 4 回環境学委員会 環境思想・環境教育分科会 議事要旨

日時：2021 年 10 月 21 日（木）15 時 00 分～17 時 00 分

会場：オンライン会議

参加者（敬称略・五十音順）：井上真理子，北村友人，工藤由貴子，小崎隆，関礼子，豊田光世，日置光久，氷見山幸夫，馬奈木俊介，山口しのぶ

欠席：井上真，蟹江憲史，河野哲也

* 委員 13 名中 10 名の出席により会議は成立した。

議題等

報告事項

1. 第 3 回分科会議事要旨公開の確認

関委員長より、第 3 回分科会議事要旨を日本学術会議 HP 上で公開した旨、報告があった。

2. 学術フォーラム参加報告

工藤委員より、7 月 3 日に開催された学術フォーラム「気候変動等による地球環境の緊急事態に社会とどう立ち向かうかー環境学の新展開ー」で、本分科会を代表し「新学習指導要領がもとめる資質能力と環境思想」について講演を行なった旨報告があった。

3. 第 3 部「意思の表出」等意見交換の報告

関委員長より、7 月 11 日に開催された日本学術会議第三部「意思の表出」等意見交換会の概要について報告があった。

4. 年次報告作成原稿の提出

関委員長より、環境学委員会年次報告書として、本分科会の開催状況等を提出した旨報告があった。

5. 小委員会の活動報告

豊田幹事より、9 月 24 日に開催された「環境教育の思想的アプローチ検討小委員会」について報告があった。役員を選出が完了し、委員の話題提供を定期的で開催するなかで、具体的なアウトプットの形を検討していくことが報告された。

審議事項

1. 提言の方向性について

井上真理子委員より、本分科会のアウトプットとして、「体験」の意義に焦点を当てた提言の作成について提案があった。コロナ禍において見えてきた体験的学びの価値や新たな学びの可能性について、多角的な議論を展開し、提言としてまとめる方向性が確認された。

話題提供

「土・土壌」をテーマに、以下2件の話題提供をいただき、環境教育における土壌学の意義について議論した。

1. 小崎委員「土壌（環境）科学をどう伝えるか？」
2. 太田和彦氏（南山大学総合政策学部）「土について話し始めるための7つの入り口-環境思想はどのようなレンズになりうるか？」

土壌は生態系の基盤的な要素であるものの、環境教育の中で十分に位置づけられていないこと、そうした観点からの教育が活発化するためには指導できる人材の育成という観点からも議論を深めていく必要があることを議論した。